国立研究開発法人科学技術振興機構
科学コミュニケーションセンター

科学技術コミュニケーション推進事業ネットワーク形成型
平成 26 年度採択企画
最終ヒアリング結果報告書

1. 企画名　継続的なワークショップ運営による情報弱者向けがん情報ツールの作成と普及

2. 提案機関　国立研究開発法人国立がん研究センター

3.企画の概要

がんは日本の死因の第１位であり、生涯に２人に１人が罹患するが、必要な情報や理解が普及しておらず、特に高齢者や障害者などの情報弱者が必要な情報に適時アクセスできる環境整備は喫緊の課題である。本企画は、がん医療の専門機関が提案機関となり、高齢者や障害者にとってそれぞれ身近な情報提供・教育・学習の場となる公立図書館、点字図書館を核とするフィールドを設定し、医療や福祉サービスの提供機関を巻き込んだネットワークを形成する。この中でがん、病気、健康、医療についての対話を重ねながら情報発信の媒体をともにつくることを通じて、情報弱者への健康医療情報の効果的な提供方法のプロトタイプを作成し、全国に普及を図る。

4.最終ヒアリング結果総合所見

計画を上回る実績を上げ、ネットワークの定着・継続・発展が一層期待できる。
図書館と連携し各フィールドにおける活動ならびにネットワークの構築は計画を上回る実績をあげ高く評価できる。さらに、本テーマは広く国民が理解することにより未然に防ぐことができる効果が高いことから、継続・展開が期待できる。
今後、図書館において多様にある「がん情報」の資料が興味関心ある方にとってより効果的選択となる方法を見つけていただきたい。今回対象としたフィールド以外の地域への展開と、より多くの市民が成果を享受できるよう発展させていくことに期待する。

以上